



「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

- データ凡例 ①著者 ②出版社 ③刊行年月 ④ISBN ⑤判型・ページ数 ⑥定価 ⑦その他



授業にも自習にも使える初級のためのテープ教材

『初級日本語聴解練習 毎日の聞き取り50日 上・下』



データ

上巻①宮城幸枝、三井昭子、牧野恵子、柴田正子、太田淑子②凡人社 〒102 0093 東京都千代田区平河町1 3 13 菱進平河町ビル1F / TEL 03 3263 3959 FAX 03 3470 2129) ③1998年 6月15日④4 89358 396 4⑤B 5判・68ページ⑥2,100円⑦別冊本文スク립ト解答例(62ページ)付、別売カセットテープ90分2巻 3,675円(4 89358 397 2)

下巻①②は上巻と同じ③1998年10月20日④4 89358 405 7⑤B 5判・66ページ⑥2,100円⑦別冊本文スク립ト解答例(60ページ)付、別売カセットテープ90分2巻 3,675円(4 89358 406 5)

初級学習者の聞き取り練習のために

日本語を勉強するとき、「聞く」練習はとても大切です。しかし、日本語の勉強を始めたばかりの人が使えるテープ教材は、

これまであまり多くありませんでした。

今回、そのような初級の学習者のための聴解教材が、新しく出ました。それがこの「初級日本語聴解練習 毎日の聞き取り50日」です。これは、前からあった中級のための「中級日本語聴解練習 毎日の聞き取り50日」と同じシリーズです。本文の漢字には全部ふりがながついて、問題文には英語、韓国語、中国語の訳もあります。難しい言葉には「注」の説明もありますから、初級の人でも使いやすいです。

いろいろな聞きかたが少しずつ練習できる

この教材には、上・下であわせて50の課があります。一つ一つの課には、①「基本練習」②「会話を聞きましょう」③「書きましょう」という三つの部分があります。

「基本練習」では、文法や文型を考へながら、テープを正しく聞きとる練習をします。

「会話を聞きましょう」では、自然な会話を聞いて、その中から大切なことを

理解する練習をします。

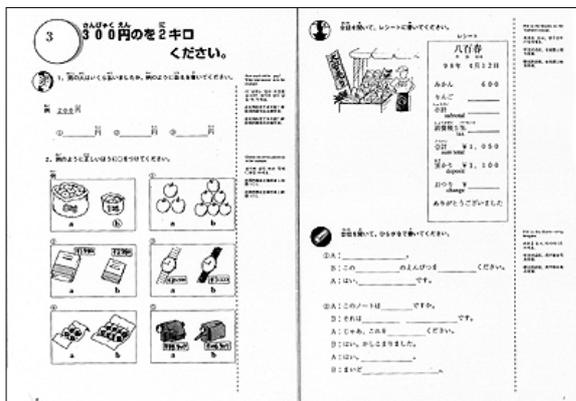
「書きましょう」はディクテーションです。テープを聞いて、文を正確に書き取る練習をします。

このように、一つの課の中で、言葉をこまかく正確に聞いたり、全体を聞いてほしいの意味を理解したりと、いろいろな聞きかたが練習できるようになっています。

一つの課は全部2ページずつですから、毎日少しずつ同じぐらいの練習ができます(毎日一課ずつやっっていけば、50日で終わりです!)。テープの日本語は普通の速さに近いスピードで録音されていますので、毎日聞けば日本語の聞き取りに慣れることができるでしょう。

文法や文型の練習にも役立つ

それぞれの課では、その課で勉強する文法や文型が決まっていますから、授業で文法や文型の練習をするときにも、このテープ教材を使うことができます。新しい文型をテープで聞いて練習したり、会話を聞いて前に習った文型を復習したりするのに役に立つでしょう。



自然な日本語を楽しく覚えるための教材

『風のつばさ - ここは楽しい日本語の世界 - 』

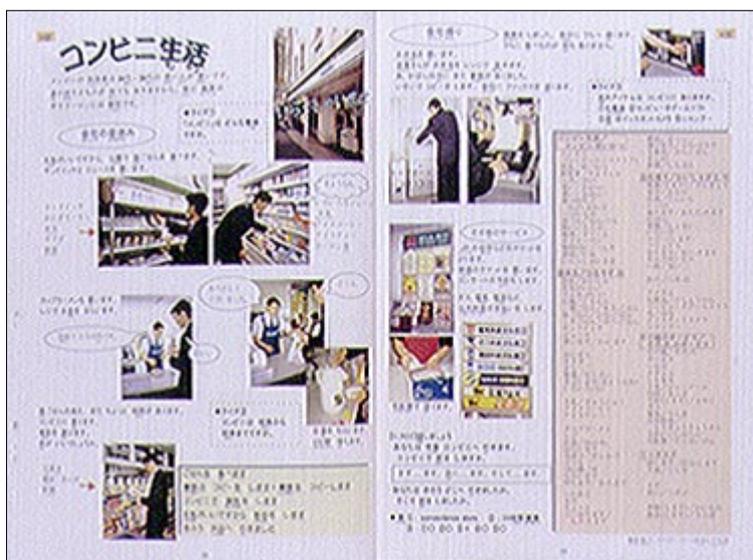


データ

■鈴木紳郎発行：アークアカデミー (〒150 0002 東京都渋谷区渋谷 1 9 1 / TEL 03 3409 0391 FAX 03 3409 4985) 発売：凡人社 (〒102 0093 東京都千代田区平河町1 3 13 菱進平河町ビル1F / TEL 03 3263 3959 FAX 03 3470 2129) 1998年 5月1日 44 89358 393 X 5A 4 判・90ページ 62 940円 7 聴解CD 2枚 組み付(付属スクリプト、英語訳256ページ) 4,725円 (4 89358 411 1)

視覚的にも内容的にも 楽しく学べる

この教材は話題や語彙を中心とした読解のテキストです。文法事項はほとんど初級前半の学習項目に限られていますが、実際の生活の中によく出てくる話題や内容をとり扱っているため、初級の学習者だけでなく、中上級レベルの学習者もたくさんのことばや自然な言い方が勉強できます。カラフルな写真やイラストがたくさん取り入れてあるので、それらを見ながら楽しく学べます。



P. 18 - 19

身近な話題

この教材は全部で35の話題からなっていますが、大きなジャンルは、「物語」「情報」「レジャー」「探検」「生活」「文法」「街」の7つです。例えば、「物語」というジャンルの下に、「ミステリー」「時限爆弾」「悲劇のヒロインダイアナ妃」「劇的な人生」「世界へはばたく日本人選手」という5つの話題があります。話題の一つ一つはそれぞれ独立しているため、興味のあるところから始めることができます。

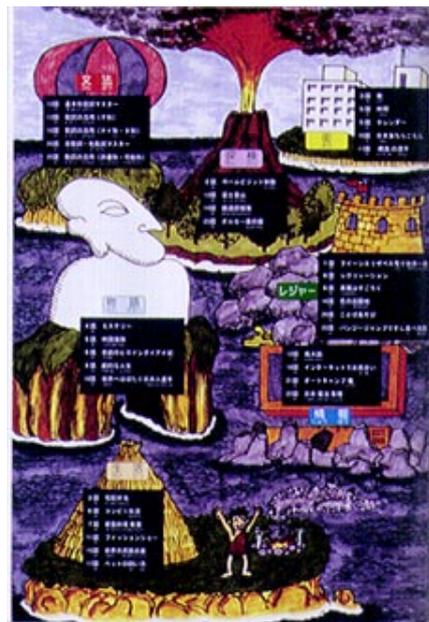
四技能のバランスを考えた構成

各話題は、「タイトル」「クイズ」「本文」「ミニタスク」「学習文型」「学習語彙」「文法と数」という構成になっています。

「タイトル」では取り上げる話題の名前が示してあります。読む前にその話題について知っていることを話したり、考えてみたりすることができます。

「本文」は話題によって形式が異なりますが、会話もあれば、文章もあります。

「ミニタスク」はさらに「話しましょ



目次前ページ

う」「考えましょ」「文を作りましょ」「話しましょ」「答えください」などのコーナーに分けられています。

「話す、聞く、読む、書く」の四技能を使って、これらのミニタスクをこなすことによって、その話題に出てきた文型や語彙を覚えることに結びつけることができます。

「学習文型」では、必要な文型が提示してあります。

「学習語彙」では、必要な語彙が示してあります。1つの話題に約50の語が入っています。全部で約1,900語取り上げられています。

「文法と数」では、動詞の活用、自動詞と他動詞の区別、形容詞、数の数え方などが表やイラストなどで分かりやすくまとめられています。

なお、このテキストは漢字には読み仮名が全部ついているので、漢字をまだ勉強していない学習者にも読めます。また、別冊として、指導書と聴解CDスクリプト(英語版、韓国語版、中国語版、ポルトガル語版、スペイン語版、フランス語版、ドイツ語版)が付いています。

p.16 ~ 19は、以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

磯村一弘、高偉建、向井園子、木山登茂子、内藤満、藤長かおる





# 敬語を使うことの意味を考える一冊

## 『敬語表現』

### データ

■蒲谷宏、川口義一、坂本恵、大修  
 館書店 〒101 8466 東京都千代田区  
 神田錦町3 24 / TEL 03 3295 6231  
 FAX 03 3295 4108 ) 1998年10月  
 15日 44 469 22143 0 B 5 判 ・ 236  
 ページ 62 310円

昨今、「敬語の乱れ」を含め、広い意味で「日本語の乱れ」が、とりざたされています。敬語を使う側にも、正しい形を操ることだけで事足りるとする態度が見られることがあります。他方、敬語を取り扱った本もたくさん出版されましたが、中にはいわゆる「正しい敬語」を強調するあまり、形にとらわれた解説に終わっているものも見られるようです。

本書がそのような本といささか違うところは、表題が『敬語』ではなく、『敬語表現』となっていることからもうかがえます。つまり、敬語を、単に文法項目として狭くとらえず、円滑なコミュニケーション

シヨンのための一つの表現手段という、より大きな視点からとらえ直しています。全体は4章からできています。1章では「敬語表現」の枠組みを論じる中で、より現実的なアプローチのための基本的な単位を考えます。2章では、一つの敬語が場面によって異なった意味を表すという現実を理解するため、「敬語」を抽象的なレベルと具体的なレベルの二つに分け、詳しく論じます。

3章では「敬語表現」の根底に「丁寧さ」の原理を認めた上で、「行動・決定・利益」の三つの基準が適切な敬語表現につながると論じます。4章は、以上を踏まえ、様々な例をとりあげながら適切な敬語表現を具体的に探ります。

この本は、日本語学習者の教材ではないので、学習者がこれを読んで、すぐ

敬語が上手に使えるようになるというよ  
 うな本ではありませんが、敬語を一応自然に使えるレベルにまで到達した上級の学習者や教師には、敬語表現の理論的整理をする手だてとなるでしょう。また、日本人には、言語生活における敬語のコミュニケーション機能を自覚する上で大きな示唆を与えてくれるでしょう。

P.116 - 117



# 上級者向けのくわしい使い分け辞典

## 『類義語使い分け辞典』

### データ

■田忠魁(ティエン・チュンクイ)、泉原省二、  
 金相順(キム・サンソン) 研究社出版 研  
 102 8152 東京都千代田区富士見2  
 11 3 / TEL 03 3288 7777 FAX 03  
 3288 7799 ) 1998年 8月25日 44  
 327 46135 0 B 5 判 ・ 743ページ  
 64 725円

ふだん何気なく使っているがどう違うのかと聞かれるとうまく説明できないのが、類義語の使い分けでしょう。日本語教育の専門家によって編集されたこの辞典を読んでいくと、語の中心的な意味を踏まえながら、類義関係にある言葉の差異や使い分けのルールがだんだん明らかになってきます。

見出し語は5,000語以上、類義語辞典

の中で最も語彙数の多いものの一つと言えます。

見出し語は、「中心語」と呼ばれる類義語群とその関連語、反対語から構成されています。各項目は、①「意味説明」、②「例文」、③「置換」、④「解説」、⑤「補足」の順になっています。「意味説明」では「中心語」で挙げられた各語の意味が一挙に定義されており、「例文」にその簡単な文例が提示されています。この辞典の特徴とも言えるのが「置換」と「解説」の部分で、例文中の語の置き換えの可否を含め、使い分けについての詳しい解説があります。「補足」では、主に関連語や反対語についての例文とその説明があります。

この辞典の使い方は、「ひく」というより「読む」と言った方がいいかもしれません。

せん。使いこなすには上級レベルの日本語力が必須ですが、言葉に興味のある人にとっては、読みごたえのある辞典です。

### 相変わらず・依然として

相変わらず：過去の時期と比較したとき、現在の状態に変化のない様子。依然として：打ち消しと呼应し、動作・状態が固定したまま変化のない様子。  
 【例】このあいだ此られたばかりなのに、相変わらず遅刻ばかりしている。  
 【注意】置き換え不能。「相変わらず」は名詞・副詞で、「こちら相変わらず元気に暮らしております・相変わらず心に不自由しないのか、派手な生活をしている・相変わらず成績はクラスで一番・相変わらずの頑張り屋」など、以前のプラスの状態が、マイナスの方向へ変化していない様子を表す場合、「景気は相変わらず回復しない・日本に来てずいぶん経つが、日本語の発音は相変わらずよくならない・大学生になっても相変わらず漫画の本ばかり読んでいる・

3 一 類  
 結婚して子どももできたのに、そっかもしは相変わらずだ・相変わらずの専業主婦」など、プラスの方向へと変化していかぬままなのに、以前のマイナスの状態が抜いていない様子を表す場合がある。どちらの場合でも、名詞副詞以外、打ち消しと呼应すると「依然として」に置き換わる。  
 「依然として」は「行政改革は専念のみで問題解決した」・「社内の問題解決した状況が改める必要がある・商業改革の考えは依然として」など置換されているのが「依然として」などと置き換える場合もあるが、「依然として」の形で、「依然として置き換えない・実質は依然として遅くならない・両者向かい合ったまま事実上として動く気配を見せない・実質は依然として遅くならない」など、多く打ち消しと呼应して「いまだ(ずっと・引き続き)〜という状態のまま」の意味を表す場合、副詞としてだけ使われる。